

## 第 79 回 学長選考会議議事概要

- 1 日 時 令和 3 年 9 月 24 日（金） 16 時 20 分～17 時 00 分
- 2 場 所 Zoom 会議
- 3 出席者 神保委員， 斎藤委員， 高橋委員， 三輪委員， 柴田委員， 松尾委員，  
染矢委員， 富田委員， 小野寺委員， 以上 9 名  
\* 欠席者：伊藤委員  
\* オブザーバー：田代監事， 逸見監事

### 4 議事概要の確認

第 78 回学長選考会議議事概要が確認され，承認された。

### 5 議事

#### (1) 国立大学法人ガバナンス・コードを踏まえた学長選考方法等の見直しに係る検討について

議長から，学長選考方法等の見直しの検討事項のうち，「② 学内外から幅広く候補者を立てることのできる手続きの整備について」，「③ 意向投票について」及び「④ 基準，選考結果等の公表について」の 3 点について審議願いたい旨の発言があり，併せて，これらについては次回の学長選考会議においても継続して審議を行う予定である旨の発言があった後，次のとおり審議が行われた。

#### 「② 学内外から幅広く候補者を立てることのできる手続きの整備について」

事務局から，資料 2 及び資料 3 に基づき他大学の学長選考規程等の状況等について説明があった後，質疑応答があり，本学の現行の選考基準では「学内外」との明記はないが，学外から候補を立てることを否定するものではなく，過去に学外者が候補適任者として推薦を受けた経緯もあることから，選考基準は改正せず，現行どおりとすることが了承された。

#### 「③ 意向投票について」

事務局から，資料 4～6 に基づき，省令等に記載の意向投票の考え方及び他大学の意向投票実施状況等について説明があった後，審議が行われ，種々，意見の開陳があった後，次回に継続審議とされた。

(主な意見及び質疑等)

- ・ 意向投票も重要であるが，所信表明等で各学長選考候補者の考え方をしっかり確認することがより重要になると思われる。
- ・ 意向投票の危うさは，意向投票者が候補者を良く知っているが故に偏りが生じることにあり，それをどの様に評価するか難しいところがある。

- ・意向投票をやめてしまうことも考えられるが、その場合、意見を取り上げないということに問題があると思われる。
- ・これまでの学長選考においても、意向投票は、選考の際の「参考」との位置づけであったと認識しており、今後も存続させるべき。
- ・他大学では、再任の際にも意向投票を実施している。また、意向投票者を教授会構成員に限定している大学もある。本学においてもこれらについて議論する必要があるのではないか。

「④ 基準、選考結果等の公表について」

事務局から、資料7に基づき、本学及び他大学の学長候補者の選定結果の公表事項について説明があった後、審議の結果、現行どおりとすることが了承された。

(主な意見及び質疑等)

特になし

以上